

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-26843

(P2002-26843A)

(43) 公開日 平成14年1月25日 (2002.1.25)

(51) Int.Cl.	識別記号	F I	テーム* (参考)
H 0 4 H 1/02		H 0 4 H 1/02	F 5 C 0 6 4
G 0 6 F 13/00	5 4 0	G 0 6 F 13/00	5 4 0 S 5 K 0 6 7
H 0 4 Q 7/38		H 0 4 N 7/173	6 1 0 Z
H 0 4 N 7/173	6 1 0	H 0 4 B 7/26	1 0 9 M

審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2000-202557 (P2000-202557)

(22) 出願日 平成12年7月4日 (2000.7.4)

(71) 出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72) 発明者 渡邊 浩一郎

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ

ー株式会社内

(74) 代理人 100092152

弁理士 服部 毅蔵

Fターム (参考) 5C064 BA01 BB10 BC16 BC20 BD02

BD09

5K067 AA21 BB04 DD52 DD53 EE02

EE10 EE16 FF23 FF25 HH23

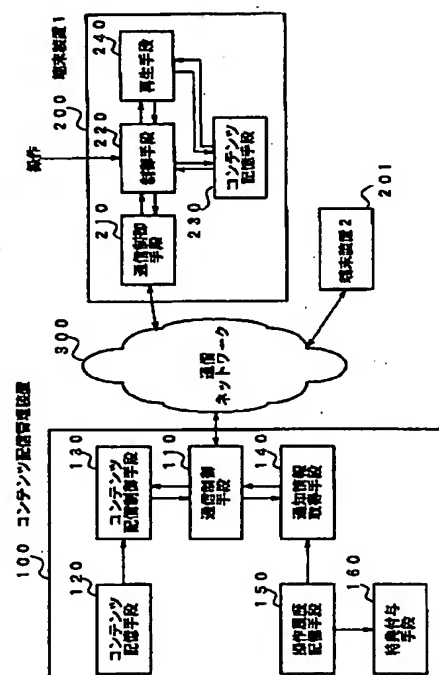
KK13

(54) 【発明の名称】 コンテンツ配信管理システム及びそのコンテンツ配信管理装置と端末装置並びにコンテンツ配信管理方法

(57) 【要約】

【課題】 コンテンツ配信後におけるユーザの所定の行動を管理する。

【解決手段】 コンテンツ配信管理装置100は、コンテンツ記憶手段120に記憶されたコンテンツを配信する場合、コンテンツ配信制御手段130によりコンテンツとともにコンテンツを取得したユーザが行なう所定の操作に関する通知情報の通知先を通信制御手段110経由でユーザの端末装置200に送信する。ユーザの端末装置200は、コンテンツと通知先を取得する。制御手段220は、コンテンツ記憶手段230にコンテンツを記憶し、ユーザがコンテンツに対して所定の操作を行なった場合に、操作に関する通知情報を生成し、通信制御手段210経由で通知先に送信する。通知先であるコンテンツ配信管理装置100では、通知情報取得手段140が通知情報を取得し、ユーザの操作履歴を生成し、これを操作履歴記憶手段150に記憶する。特典付与手段160は、ユーザの操作履歴を参照して、特典の付与判断を行ない、適当なユーザに特典を付与する。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 所定のネットワークを介して任意のユーザへのコンテンツの配信を管理するコンテンツ配信管理システムにおいて、

前記ネットワークを介して行なう前記ユーザの端末装置との通信を制御する通信制御手段と、前記コンテンツを記憶するコンテンツ記憶手段と、前記コンテンツとともに前記コンテンツに対して行なわれた所定の操作に関する通知情報の通知先を配信するコンテンツ配信制御手段と、前記ユーザの所定の操作に関する通知情報を取得して前記ユーザの所定の操作に関する操作履歴を生成する通知情報取得手段と、前記操作履歴を記憶する操作履歴記憶手段と、を有するコンテンツ配信管理装置と、前記ネットワークを介して行なう通信を制御する通信制御手段と、前記通信制御手段が取得した前記コンテンツ配信管理装置の送信したコンテンツ及び通知先を記憶するとともに前記ユーザがコンテンツに対して所定の操作を行なった場合に前記通知先に前記所定の操作に関する通知情報を送る制御手段と、前記取得したコンテンツを記憶するコンテンツ記憶手段と、を有する端末装置と、から構成されることを特徴とするコンテンツ配信管理システム。

【請求項2】 前記コンテンツ配信管理装置は、さらに、前記操作履歴記憶手段に記憶された任意のユーザの操作履歴に応じて前記ユーザに所定の特典を付与する特典付与手段を有することを特徴とする請求項1記載のコンテンツ配信管理システム。

【請求項3】 前記端末装置の制御手段は、前記ユーザが取得したコンテンツの再生を行なった場合にコンテンツ再生の通知情報を生成し、前記コンテンツ配信管理装置の通知情報取得手段は、前記コンテンツ再生の通知情報を取得した場合に前記操作履歴記憶手段に記憶された前記端末装置のコンテンツの再生回数を含むコンテンツ再生に関する情報を更新し、前記コンテンツ配信管理装置の特典付与手段は、前記コンテンツの再生回数に応じて所定の特典を付与することを特徴とする請求項2記載のコンテンツ配信管理システム。

【請求項4】 前記端末装置の制御手段は、前記ユーザが取得したコンテンツを他のユーザの端末装置に送信した場合にコンテンツ送信の通知情報を生成し、前記コンテンツ配信管理装置の通知情報取得手段は、前記コンテンツ送信の通知情報を取得した場合に前記操作履歴記憶手段に記憶された前記端末装置のコンテンツの送信回数を含むコンテンツ送信に関する情報を更新し、前記コンテンツ配信管理装置の特典付与手段は、前記コンテンツの送信回数に応じて所定の特典を付与することを特徴とする請求項2記載のコンテンツ配信管理システム。

【請求項5】 前記端末装置の制御手段は、前記ユーザ

2

が取得したコンテンツの再生を行なった場合にコンテンツ再生の通知情報を生成し、

前記コンテンツ配信管理装置の通知情報取得手段は、前記コンテンツ再生の通知情報を取得した場合に前記操作履歴記憶手段に記憶された前記端末装置のコンテンツの再生回数を含むコンテンツ再生に関する情報を更新することを特徴とする請求項1記載のコンテンツ配信管理システム。

【請求項6】 前記端末装置の制御手段は、前記ユーザが取得したコンテンツを他のユーザの端末装置に送信した場合にコンテンツ送信の通知情報を生成し、前記コンテンツ配信管理装置の通知情報取得手段は、前記コンテンツ送信の通知情報を取得した場合に前記操作履歴記憶手段に記憶された前記端末装置のコンテンツの送信回数を含むコンテンツ送信に関する情報を更新することを特徴とする請求項1記載のコンテンツ配信管理システム。

【請求項7】 前記端末装置は、さらに前記所定の操作についての履歴を記憶する記憶手段を有し、前記制御手段は、前記所定の操作が行なわれた場合に前記所定の操作の履歴を更新し、必要に応じて前記操作の履歴を前記コンテンツ配信管理装置に送信することを特徴とする請求項1記載のコンテンツ配信管理システム。

【請求項8】 所定のネットワークを介して任意のユーザへのコンテンツの配信を管理するコンテンツ配信管理装置において、

前記ネットワークを介して行なう前記ユーザの端末装置との通信を制御する通信制御手段と、前記コンテンツを記憶するコンテンツ記憶手段と、前記コンテンツとともに前記コンテンツに対して行なわれた所定の操作に関する通知情報の通知先を配信するコンテンツ配信制御手段と、前記ユーザの所定の操作に関する通知情報を取得して前記ユーザの所定の操作に関する操作履歴を生成する通知情報取得手段と、前記操作履歴を記憶する操作履歴記憶手段と、を有することを特徴とするコンテンツ配信管理装置。

【請求項9】 所定のネットワークを介してコンテンツの配信を受ける端末装置において、

前記ネットワークを介して行なう通信を制御する通信制御手段と、

前記通信制御手段が取得したコンテンツ配信を管理するコンテンツ管理者から送信されたコンテンツ及びコンテンツに対して行なわれた所定の操作を通知する通知先とを記憶するとともに、ユーザが前記所定の操作を行なった場合に前記通知先に前記所定の操作に関する通知情報を送る制御手段と、前記取得したコンテンツを記憶するコンテンツ記憶手段と、

を有することを特徴とする端末装置。

3

【請求項10】 所定のネットワークを介して任意のユーザへのコンテンツの配信を管理するコンテンツ配信管理方法において、
コンテンツの管理を行なうコンテンツ配信管理装置が、
前記コンテンツ配信時にコンテンツとともに前記コンテンツに対して行なわれた所定の操作に関する通知情報の通知先を配信する手順と、
前記コンテンツの配信を受ける前記任意のユーザの端末装置が、前記コンテンツ及び通知先を受信し、前記コンテンツ及び通知先を記憶し、前記所定の操作が行なわれた場合に前記通知先に前記所定の操作に関する通知情報を送信する手順と、
前記コンテンツ配信管理装置が、前記通知情報を受信し、前記通知情報に基づいて前記ユーザの所定の操作に関する操作履歴を生成し、前記操作履歴を記憶する手順と、を有することを特徴とするコンテンツ配信管理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明はコンテンツ配信管理システム及びそのコンテンツ配信管理装置と端末装置並びにコンテンツ配信管理方法に関し、特に所定のネットワークを介して任意のユーザへのコンテンツの配信を管理するコンテンツ配信管理システム及びそのコンテンツ配信管理装置と端末装置並びにコンテンツ配信管理方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 近年、インターネットやパソコン通信、あるいはデータ放送等により、画像データや音楽データ、映像データ、あるいはゲームやプログラム等のデジタルコンテンツを提供するコンテンツ配信サービスが注目されている。

【0003】 例えば、インターネット等を経由してコンテンツ配信サービスを受けようとする場合、サービスを希望するユーザは所望のコンテンツの配信を行なうコンテンツ配信管理装置が管理するウェブサイト等にアクセスし、有料の場合には課金処理を行なった後、必要なコンテンツをダウンロードする。

【0004】 また、衛星データ放送等を経由してコンテンツ配信サービスを受けようとする場合、サービスを希望するユーザは、所望のコンテンツを放送する番組を選択し、この放送番組を受信してコンテンツを取得する。有料のコンテンツは、例えば符号化されており、料金を支払って取得した鍵を用いて復号化することにより、コンテンツの利用ができるようになっている。コンテンツ配信管理装置は、鍵の管理を行なう。

【0005】 このように、コンテンツ配信サービスでは、コンテンツ配信管理装置によって、コンテンツを所望するユーザへのコンテンツ配信管理及びその課金処理等、コンテンツ配信に関わる管理処理を行なっている。

4

【0006】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、従来のコンテンツ配信管理システム及びコンテンツ配信管理装置は、コンテンツが配信された後の管理をしていないという問題がある。

【0007】 上記説明のように、コンテンツ配信サービスを管理するコンテンツ配信管理装置は、コンテンツの配信とその課金管理を行なっている。しかしながら、コンテンツが配信された後、ユーザがコンテンツをどのように使用したか等、配信後のコンテンツ利用を管理していない。例えば、ユーザがコンテンツを再生した再生回数や、コンテンツがユーザ同士で自由にやり取りが可能な場合の送信回数等、ユーザがコンテンツを受け取った後の行動については、把握することができていない。

【0008】 コンテンツ配信サービスにおいて、例えば、ユーザがコンテンツを再生した再生回数をコンテンツ配信管理装置で把握し、その再生回数に応じた特典を提供する等のサービスを行なえば、ユーザの購買意欲を高めることができる。

【0009】 一方、ユーザが他のユーザにコンテンツを送信することは、コンテンツの配布に協力していることにもなる。従って、例えば、コンテンツの送信回数に応じて何らかの特典を得ることができれば、コンテンツの配布意欲を高めることが可能になる。

【0010】 このように、コンテンツ配信後、上記説明のようなユーザのコンテンツ利用度あるいは、コンテンツ普及への貢献度を測ることができるユーザの行動を把握し、さらに、利用度あるいは貢献度に応じた特典をユーザに与えれば、コンテンツの利用あるいは普及が促進される。

【0011】 本発明はこのような点に鑑みてなされたものであり、コンテンツ配信後におけるユーザの所定の行動を管理することが可能なコンテンツ配信管理システム及びそのコンテンツ配信管理装置と端末装置並びにコンテンツ配信管理方法を提供することを目的とする。

【0012】

【課題を解決するための手段】 本発明では上記課題を解決するために、所定のネットワークを介して任意のユーザへのコンテンツの配信を管理するコンテンツ配信管理システムにおいて、前記ネットワークを介して行なう前記ユーザの端末装置との通信を制御する通信制御手段と、前記コンテンツを記憶するコンテンツ記憶手段と、前記コンテンツとともに前記コンテンツに対して行なわれた所定の操作に関する通知情報の通知先を配信するコンテンツ配信制御手段と、前記ユーザの所定の操作に関する通知情報を取得して前記ユーザの所定の操作に関する操作履歴を生成する通知情報取得手段と、前記操作履歴を記憶する操作履歴記憶手段と、を有するコンテンツ配信管理装置と、前記ネットワークを介して行なう通信を制御する通信制御手段と、前記通信制御手段が取得し

た前記コンテンツ配信管理装置の送信したコンテンツ及び通知先を記憶するとともに前記ユーザがコンテンツに対して所定の操作を行なった場合に前記通知先に前記所定の操作に関する通知情報を送る制御手段と、前記取得したコンテンツを記憶するコンテンツ記憶手段と、を有する端末装置と、から構成されることを特徴とするコンテンツ配信管理システム、が提供される。

【0013】このようなコンテンツ配信管理システムでは、コンテンツ配信管理装置は、コンテンツ記憶手段に記憶された所定のコンテンツを任意のユーザに配信する場合、コンテンツ配信制御手段によりコンテンツとともにコンテンツを取得したユーザが行なう所定の操作に関する通知情報を送信する通知先を通信制御手段経由でユーザの端末装置に送信する。ユーザの端末装置は、通信制御手段経由でコンテンツと通知先を取得する。制御手段は、コンテンツ記憶手段にコンテンツを記憶するとともに、ユーザが取得したコンテンツに対して所定の操作を行なった場合に、操作に関する通知情報を生成し、通信制御手段により通知先に送信する。通知先であるコンテンツ配信管理装置では、通信制御手段により端末装置からの通知情報を取得し、通知情報取得手段へ送る。通知情報取得手段は、取得した通知情報からユーザの所定の操作に関する操作履歴を生成し、操作履歴記憶手段に記憶する。

【0014】また、上記課題を解決するために、所定のネットワークを介して任意のユーザへのコンテンツの配信を管理するコンテンツ配信管理装置において、前記ネットワークを介して行なう前記ユーザの端末装置との通信を制御する通信制御手段と、前記コンテンツを記憶するコンテンツ記憶手段と、前記コンテンツとともに前記コンテンツに対して行なわれた所定の操作に関する通知情報の通知先を配信するコンテンツ配信制御手段と、前記ユーザの所定の操作に関する通知情報を取得して前記ユーザの所定の操作に関する操作履歴を生成する通知情報取得手段と、前記操作履歴を記憶する操作履歴記憶手段と、を有することを特徴とするコンテンツ配信管理装置、が提供される。

【0015】このような構成のコンテンツ配信管理装置では、コンテンツ記憶手段に記憶された所定のコンテンツを任意のユーザに配信する場合、コンテンツ配信制御手段によりコンテンツとともにコンテンツを取得したユーザが行なう所定の操作に関する通知情報を送信する通知先を通信制御手段経由でユーザの端末装置に送信する。通知情報取得手段は、通信制御手段経由でユーザからの通知情報を取得し、取得した通知情報からユーザの所定の操作に関する操作履歴を生成し、操作履歴記憶手段に記憶する。

【0016】また、上記課題を解決するために、所定のネットワークを介してコンテンツの配信を受ける端末装置において、前記ネットワークを介して行なう通信を制

御する通信制御手段と、前記通信制御手段が取得したコンテンツ配信を管理するコンテンツ管理者から送信されたコンテンツ及びコンテンツに対して行なわれた所定の操作を通知する通知先とを記憶するとともに、ユーザが前記所定の操作を行なった場合に前記通知先に前記所定の操作に関する通知情報を送る制御手段と、前記取得したコンテンツを記憶するコンテンツ記憶手段と、を有することを特徴とする端末装置、が提供される。

【0017】このような構成の端末装置では、コンテンツ管理者の送信するコンテンツとコンテンツに対して行なわれた所定の操作を通知する通知先とを通信制御手段により受信し、制御手段へ送る。制御手段は、コンテンツをコンテンツ記憶手段に記憶し、通知先を所定のメモリに記憶する。また、ユーザが所定の操作を行なったことを検出すると、所定の操作が行なわれたことを通知情報として通知先に送信する。

【0018】また、上記課題を解決するために、所定のネットワークを介して任意のユーザへのコンテンツの配信を管理するコンテンツ配信管理方法において、コンテンツの管理を行なうコンテンツ配信管理装置が、前記コンテンツ配信時にコンテンツとともに前記コンテンツに対して行なわれた所定の操作に関する通知情報の通知先を配信する手順と、前記コンテンツの配信を受ける前記任意のユーザの端末装置が、前記コンテンツ及び通知先を受信し、前記コンテンツ及び通知先を記憶し、前記所定の操作が行なわれた場合に前記通知先に前記所定の操作に関する通知情報を送信する手順と、前記コンテンツ配信管理装置が、前記通知情報を受信し、前記通知情報に基づいて前記ユーザの所定の操作に関する操作履歴を生成し、前記操作履歴を記憶する手順と、を有することを特徴とするコンテンツ配信管理方法、が提供される。

【0019】このような手順のコンテンツ配信管理方法では、コンテンツ配信管理装置が、任意のユーザに対してコンテンツとユーザの所定の操作を通知する通知先とを配信する。これを受信したユーザの端末装置は、コンテンツと通知先を記憶するとともに、ユーザが所定の操作を行なった場合には配信された通知先に操作があったことを通知する。操作が行なわれたという通知情報を受信したコンテンツ配信管理装置は、通知情報に基づいてユーザの所定の操作に関する操作履歴を生成し、これを記憶する。

【0020】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面を参照して説明する。図1は、本発明の一実施の形態であるコンテンツ配信管理システムの構成図である。

【0021】本発明に係るコンテンツ配信管理システムは、コンテンツの配信管理を行なうコンテンツ配信管理装置100と、ユーザの保有する端末装置1(200)及び端末装置2(201)とが、所定の通信ネットワーク300を介して接続している。

【0022】コンテンツ配信管理装置100は、通信ネットワーク300を介しての通信を制御する通信制御手段110、配信するコンテンツを記憶するコンテンツ記憶手段120、コンテンツ配信の制御を行なうコンテンツ配信制御手段130、端末装置1(200)あるいは端末装置2(210)から送られる通知情報を取得する通知情報取得手段140、通知情報から生成されたユーザの操作履歴を記憶する操作履歴記憶手段150、及び操作履歴を参照してユーザに特典を付与する特典付与手段160とから構成される。

【0023】通信制御手段110は、通信ネットワーク300に接続し、端末装置1(200)、端末装置2(201)との通信制御を行なう。コンテンツ記憶手段120は、コンテンツを記憶するハードディスク等の記憶装置である。

【0024】コンテンツ配信制御手段130は、コンテンツ記憶手段120に記憶されたコンテンツを読み出し、通信制御手段110経由で配信先の端末装置1(200)、あるいは端末装置2(201)に送信する。この時、コンテンツとともに、端末装置1(200)、あるいは端末装置2(201)のユーザが行なった所定の操作に関する通知情報の通知先を送信する。この実施の形態での通知先は、コンテンツ配信管理装置100である。コンテンツの配信と通知情報の収集を別装置で行なう場合は、通知情報を収集する装置になる。

【0025】通知情報取得手段140は、通信制御手段110経由で入力する端末装置1(200)、あるいは端末装置2(201)からの通知情報を取得し、通知情報に基づいて各ユーザ毎の操作履歴を生成し、操作履歴記憶手段150に記憶する。通知は、予め決められた操作、例えば、コンテンツの再生する、あるいは、コンテンツを他のユーザに送信する、等が行なわれた場合に送られてくる。

【0026】操作履歴記憶手段150は、各ユーザ毎に生成された操作履歴を記憶する。特典付与手段160は、操作履歴記憶手段150に記憶された各ユーザの操作履歴を参照して、予め決められた条件を満たした時に、所定の特典を付与する。例えば、コンテンツの再生回数が所定の回数に達した時に、特典を付与する。特典の内容及びその付与方法は、特に限定しない。

【0027】また、上記説明では、コンテンツ配信を行なうコンテンツ配信制御手段130、通知情報を取得する通知情報取得手段140、及び特典を付与する特典付与手段160とを同一装置内に設けたが、それぞれを別装置とすることもできる。図2は、本発明の一実施の形態であるコンテンツ操作報告受信装置の構成図である。

【0028】本発明に係るコンテンツ操作報告受信装置400は、通知情報を取得する装置であって、携帯電話網310を介して各端末装置と接続しており、携帯電話

(以下、大容量HDとする)430とから構成される。携帯電話通信装置410は、通信制御手段110と同様の機能を備えており、携帯電話網310経由で各端末装置との通信を制御する。受信した端末装置の通知情報は、CPU420の制御に従って、直接あるいはCPU420経由で、大容量HD430へ出力する。CPU420は、装置全体を制御するとともに、通知情報取得手段140と同様の処理を行なう。すなわち、携帯電話通信装置410の取得した通知情報から各端末装置毎の操作履歴を生成し、大容量HD430に記録する。大容量HD430は、操作履歴記憶手段150と同様に、生成された各端末装置の操作履歴を記憶する。

【0029】図1に戻って説明する。端末装置1(200)及び端末装置2(201)は、各ユーザが保有し、通信ネットワーク300を介して、コンテンツ配信管理装置100及び端末装置1(200)及び2(201)間での通信を行なう。端末装置1(200)と端末装置2(201)の主要な構成は同じであるので、以下の説明は、端末装置1(200)で行なう。

【0030】端末装置1(200)は、通信ネットワーク300を介しての通信を制御する通信制御手段210、装置全体を制御するとともにコンテンツと通知情報処理を行なう制御手段220、コンテンツを記憶するコンテンツ記憶手段230、及びコンテンツの再生を行なう再生手段240とから構成される。

【0031】通信制御手段210は、通信ネットワーク300に接続し、コンテンツ配信管理装置100、及び必要に応じて端末装置2(201)との通信制御を行なう。制御手段220は、装置全体を制御するとともに、ユーザからの操作に応じた処理を実行する。通信制御手段210からコンテンツと通知先を取得した場合には、コンテンツと通知先をコンテンツ記憶手段230に記憶する。例えば、再生操作が行なわれた場合には、再生手段240に再生指示を出し、コンテンツ送信操作があった場合には、指定の端末装置に向けてコンテンツ記憶手段230に記憶されたコンテンツと通知先を送信する。また、ユーザが行なった操作が、通知する必要がある操作であった場合には、通知情報を生成し、通信制御手段210経由で通知先に通知する。

【0032】再生手段240は、制御手段の指示に従ってコンテンツの再生を行なう。通信ネットワーク300は、コンテンツ配信管理装置100、端末装置1(200)、端末装置2(201)間を接続し、所定の通信データを転送する。通信ネットワーク300は、例えば、電話回線やCATV、携帯電話網等の通信路を用いたインターネットやパソコン通信等、双方向通信の可能な伝送路である。また、コンテンツ及び通知先の配信には、衛星データ放送等の放送網を用いて、通知情報の通信には通信ネットワーク300を用いるようにすることもできる。

【0033】このような端末装置の具体例について説明する。図3は、本発明の一実施の形態である端末装置の構成図である。本発明に係る端末装置500は、コンテンツを取得する装置であって、携帯電話網310を介してコンテンツ配信装置及び他の端末装置と接続しており、携帯電話通信装置510と、マイクロプロセッサ520と、メモリ530と、表示装置540と、スピーカ550とから構成される。携帯電話通信装置510は、通信制御手段210と同様の機能を備えており、携帯電話網310経由での通信を制御する。マイクロプロセッサ520は、装置全体を制御する制御手段220と同様の処理を行なう。すなわち、携帯電話通信装置510より取得したコンテンツと通知先をメモリ530に記録する。また、コンテンツが表示装置540とスピーカ550により再生された場合、あるいは、コンテンツを携帯電話通信装置510経由で他の端末装置に送信した場合等、所定の操作が行なわれた場合に、通知情報を生成し、携帯電話通信装置510経由でコンテンツ配信管理装置100あるいは、コンテンツ操作報告受信装置400に送信する。表示装置540は、再生されたコンテンツの映像を表示し、スピーカ550は音声を出力する。

【0034】図1に戻って、このような構成のコンテンツ配信管理システムの動作について説明する。コンテンツ配信管理装置100は、コンテンツ配信制御手段130により、コンテンツ記憶手段120に記憶されたコンテンツを抽出し、通信制御手段110に送信する。この時、コンテンツとともに、ユーザの操作に関する通知情報の通知先が送信される。コンテンツの再生と、コンテンツを他のユーザに送信した場合に、通知が行なわれるとする。コンテンツと通知先は、通信ネットワーク300を経由し、端末装置1(200)の通信制御手段210に受信される。制御手段220は、コンテンツと通知先をコンテンツ記憶手段230に記憶する。通知は、コンテンツの再生時とコンテンツを他のユーザに送信した場合に行なうとする。再生手段240によりコンテンツが再生された場合は、コンテンツ再生の通知情報を通知先に送信する。また、端末装置2(201)に対して、コンテンツ記憶手段230に記憶されたコンテンツと通知先を通信制御手段210経由で送信する。この時には、コンテンツ送信の通知情報を送信する。

【0035】通知情報は、通信ネットワーク300経由で通信制御手段110に受信される。通知情報取得手段140は、通知情報を取得し、各端末装置毎に整理し、操作履歴記憶手段150に記憶する。例えば、通知情報に基づいて、各操作の操作回数、コンテンツの再生回数や送信回数と行なった操作履歴を生成して操作履歴記憶手段150に記憶する。また、端末装置1(200)側で、コンテンツの再生回数や送信回数をカウントし、適当なタイミングでこれを送信するようにすることもできる。特典付与手段160は、操作履歴記憶手段150を

参照して、コンテンツの再生回数や送信回数等に応じた特典をユーザに付与する。

【0036】次に、本発明に係るコンテンツ配信管理方法について説明する。以下では、コンテンツの再生を通知する場合と、コンテンツの送信を通知する場合について説明する。

【0037】まず、コンテンツ管理者がユーザのコンテンツ再生回数を把握し、これに応じた特典を付与する場合について説明する。再生回数を報告させることにより、コンテンツの利用状況がわかるばかりでなく、特典の付与によりコンテンツの利用を促進し、その結果ユーザの購買意欲を高めることができる。

【0038】図4は、再生回数に応じた特典提供の処理ダイアグラムである。図2、図3と同じものには同じ番号を付し、説明は省略する。本発明に係る再生回数に応じた特典提供処理では、コンテンツが配信されたユーザの端末装置500においてコンテンツが再生されると、コンテンツ再生報告が生成され、コンテンツ管理者のコンテンツ再生報告受信装置401に送信される。コンテンツ再生報告受信装置401は、再生報告を処理し、これに応じた特典をユーザに付与する。コンテンツ再生報告受信装置401の構成は、コンテンツ操作報告受信装置400と同様である。

【0039】処理手順について説明する。図5は、再生回数に応じた特典提供の処理手順である。これは、端末装置にコンテンツが配信された以降の処理手順を示したフローチャートである。処理が開始され(S10)、端末装置が、コンテンツを再生する(S11)。この時、コンテンツとともに受信したコンテンツ管理者の通知先に基づいて、コンテンツ再生報告受信装置に「コンテンツ再生報告」が送信される(S12)。コンテンツ再生報告を受信したコンテンツ再生報告受信装置は、これを記憶手段に記憶する。この時、例えば、ユーザ毎のコンテンツ再生回数等が生成される。コンテンツ管理者は、任意の時に、再生報告に基づいてユーザに特典を付与する(S14)。例えば、コンテンツの再生回数が所定の回数を超えた場合、あるいは、ある期間でユーザの再生回数を比較し、再生回数の多い順等、所定の条件に応じて特典をユーザに付与する。

【0040】このように、コンテンツ取得後におけるユーザのコンテンツ利用の状態、この場合には、コンテンツの再生の報告を取得することができる。また、ユーザは、コンテンツを購入するだけでなく、その再生回数に応じて特典を得ることができるため、コンテンツの利用及び購買が促進される。

【0041】また、上記説明では、ユーザがコンテンツを再生する際、逐次コンテンツ管理者に報告するとしているが、端末装置側でコンテンツ再生報告を一旦記憶しておき、後にコンテンツ管理者に報告するとしてもよい。

【0042】次に、コンテンツ管理者がユーザのコンテンツ送信回数を把握し、これに応じた特典を付与する場合について説明する。一般に、コンテンツを複写し、ユーザ同士で自由に交換することは禁止されている場合が多い。それは、コンテンツ管理者がコンテンツに課金した場合に、不都合だからである。しかしながら、ユーザ同士でコンテンツを自由に交換しても問題ない場合も想定できる。例えば、コンテンツを再生する毎に課金するシステムや、コンテンツを受信する毎に課金するシステムでは、コンテンツはユーザ同士で自由に交換しても問題はない。むしろ、そのコンテンツを広く配布するために、一役買ってくれる、いわば広告のような役目を果たしてくれているともいえる。よって、このような場合、コンテンツ管理者が、ユーザの送信回数に応じて特典を与えることが可能なシステムを構築すれば、ユーザの送信意欲を高めることができ、ひいては、コンテンツの広い配布を促すことができる。

【0043】図6は、送信回数に応じた特典提供の処理ダイアグラムである。図3と同じものには同じ番号を付し、説明は省略する。コンテンツ管理者のコンテンツ送信・再生報告受信装置600は、コンテンツ操作報告受信装置400と同様の構成であり、さらに、コンテンツの送信報告を受信し、これを処理する機能を有する。

【0044】本発明に係る送信回数に応じた特典提供処理では、ユーザAからユーザBに対してコンテンツ送信リクエストが出されると、ユーザBの端末装置B(500b)からユーザAの端末装置A(500a)にコンテンツが送信される。この時、端末装置B(500b)からコンテンツ管理者のコンテンツ送信・再生報告受信装置600に対してコンテンツ送信報告が通知される。さらに、ユーザAの端末装置A(500a)においてコンテンツが再生されると、コンテンツ再生報告が生成され、コンテンツ管理者のコンテンツ送信・再生報告受信装置600に送信される。コンテンツ送信・再生報告受信装置600は、再生報告を処理し、送信及び再生に応じた特典をユーザBに付与する。

【0045】処理手順について説明する。図7は、送信回数に応じた特典提供の処理手順である。これは、端末装置Bにコンテンツが配信された以降の処理手順を示したフローチャートである。

【0046】処理が開始され(S20)、任意の時に、端末装置Aからコンテンツを保有する端末装置Bへコンテンツ送信リクエストが送信される(S21)。コンテンツ送信リクエストを受信した端末装置Bから端末装置Aへコンテンツが送信され(S22)、コンテンツ送信・再生報告受信装置へコンテンツ送信報告が送信される(S23)。コンテンツには、コンテンツ再生時にこれを通知する通知先が付加されている。コンテンツ及び通知先を受信した端末装置Aは、記憶手段に通知先を含むコンテンツを記憶する(S24)。また、コンテンツ送

信報告を受信したコンテンツ送信・再生報告受信装置は、これを記憶手段に記憶する。この時、例えば、ユーザ毎のコンテンツ送信回数等の操作履歴が生成される。コンテンツを取得した端末装置Aは、任意の時にコンテンツの再生を行ない(S25)、コンテンツ送信・再生報告受信装置へ、コンテンツ再生報告を送信する(S26)。コンテンツ再生報告を受信したコンテンツ再生報告受信装置は、これを記憶手段に記憶する。コンテンツ管理者は、任意の時に、送信報告及び再生報告に基づいてユーザBに特典を付与する(S27)。例えば、端末装置Bから端末装置Aにコンテンツの送信が行なわれ、端末装置Aでコンテンツが再生された場合等、所定の条件に応じて特典をユーザBに付与する。

【0047】このように、コンテンツ管理者は、コンテンツを特定のユーザに配信した後のコンテンツ配布の状況を把握することができる。また、ユーザは、コンテンツを購入するだけでなく、その送信回数に応じて特典を得ることができるため、コンテンツの配布が促進される。

【0048】上記の説明では、端末装置Bのコンテンツ送信報告と端末装置Aのコンテンツ再生報告によって端末装置BのユーザBに特典を与えるとしたが、コンテンツの送信報告だけに基づいて特典を与えることもできる。また、上記説明では、ユーザがコンテンツを送信あるいは再生する際、逐次コンテンツ管理者に報告しているが、端末装置側でコンテンツ送信報告及びコンテンツ再生報告を一旦記憶しておき、後にコンテンツ管理者に報告するとしてもよい。

【0049】なお、上記の処理機能は、コンピュータによって実現することができる。その場合、コンテンツ配信管理装置と端末装置が有すべき機能の処理内容は、コンピュータで読み取り可能な記録媒体に記録されたプログラムに記述しておく。そして、このプログラムをコンピュータで実行することにより、上記処理がコンピュータで実現される。コンピュータで読み取り可能な記録媒体としては、磁気記録装置や半導体メモリ等がある。市場に流通させる場合には、CD-ROM(Compact Disc Read Only Memory)やフロッピー(登録商標)ディスク等の可搬型記録媒体にプログラムを格納して流通させたり、ネットワークを介して接続されたコンピュータの記憶装置に格納しておき、ネットワークを通じて他のコンピュータに転送することもできる。コンピュータで実行する際には、コンピュータ内のハードディスク装置等にプログラムを格納しておき、メインメモリにロードして実行する。

【0050】

【発明の効果】以上説明したように本発明では、コンテンツ配信管理装置は、コンテンツを任意のユーザに配信する場合、コンテンツとともにコンテンツを取得したユーザが行なう所定の操作に関する通知情報を送信する通

13

知先を送信する。ユーザの端末装置は、コンテンツを記憶するとともに、ユーザが所定の操作を行なった場合に通知情報を生成し、通知先へ送信する。通知先であるコンテンツ配信管理装置では、取得した通知情報からユーザの操作履歴を生成し、これを記憶する。

【0051】このように、コンテンツ配信管理装置は、ユーザの操作に関する通知を受け、操作履歴を生成することにより、コンテンツ配信後のユーザ操作について知ることができ、ユーザのコンテンツに対する詳細な嗜好の分析ができる。さらに、例えば、操作に応じて特典を付与する等を行なえば、ユーザのコンテンツの利用を促進することができる。

【0052】また、本発明のコンテンツ配信管理装置は、コンテンツを配信する場合、コンテンツとともにユーザの所定の操作に関する通知情報を送信する通知先を送信する。ユーザからの通知情報を取得し、取得した通知情報からユーザの所定の操作に関する操作履歴を生成し、これを記憶する。

【0053】このように、コンテンツに通知先を添付することにより、端末装置からユーザが行なった操作についての情報を獲得することができる。このため、獲得した操作についての情報に基づいて、ユーザのコンテンツに対する詳細な嗜好の分析ができる。さらに、例えば、操作に応じて特典を付与する等を行なえば、ユーザのコンテンツの利用を促進することができる。

【0054】また、本発明の端末装置は、コンテンツとともにユーザの所定の操作を通知する通知先を受信する。ユーザが所定の操作を行なった場合、その通知情報を通知先へ送信する。

【0055】このように、コンテンツとともに通知先を受信し、所定の操作が行なわれた時には通知先へ送信するため、コンテンツを配信する側に、ユーザの操作に関する情報を提供することができる。

【0056】また、本発明のコンテンツ配信管理方法は、コンテンツ配信管理装置が、コンテンツとともにユ *

14

*ーザの所定の操作を通知する通知先とを配信する。これを受信したユーザの端末装置は、ユーザが所定の操作を行なった場合に、この通知先へ通知する。操作が行なわれたという通知情報を受信したコンテンツ配信管理装置は、通知情報に基づいてユーザの操作履歴を生成し、これを記憶する。

【0057】このように、コンテンツとともに操作に関する通知先も配信するため、配信先の端末装置でのコンテンツに対するユーザの所定の操作に関する情報を得ることできる。通知情報から操作履歴を生成し、これを利用することにより、ユーザのコンテンツに対する詳細な嗜好の分析ができる。さらに、例えば、操作に応じて特典を付与する等を行なえば、ユーザのコンテンツの利用を促進することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態であるコンテンツ配信管理システムの構成図である。

【図2】本発明の一実施の形態であるコンテンツ操作報告受信装置の構成図である。

【図3】本発明の一実施の形態である端末装置の構成図である。

【図4】再生回数に応じた特典提供の処理ダイアグラムである。

【図5】再生回数に応じた特典提供の処理手順である。

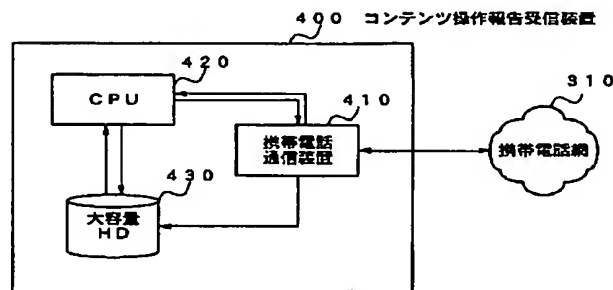
【図6】送信回数に応じた特典提供の処理ダイアグラムである。

【図7】送信回数に応じた特典提供の処理手順である。

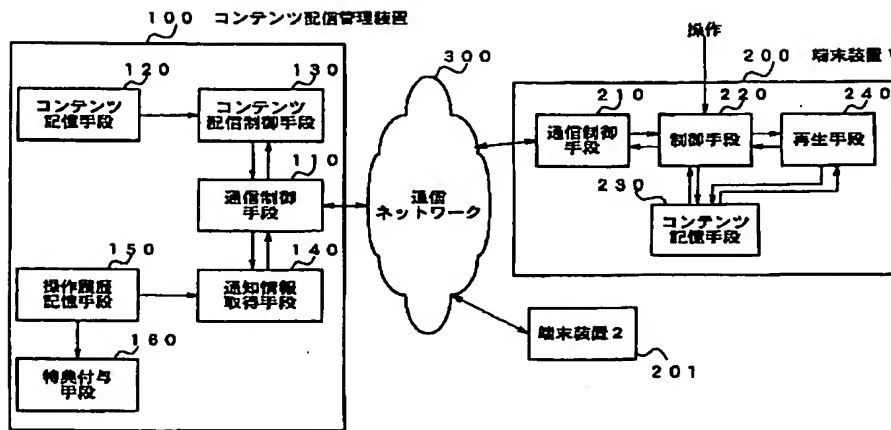
【符号の説明】

100…コンテンツ配信管理装置、110…通信制御手段、120…コンテンツ記憶手段、130…コンテンツ配信制御手段、140…通知情報取得手段、150…操作履歴記憶手段、160…特典付与手段、200…端末装置1、201…端末装置2、210…通信制御手段、220…制御手段、230…コンテンツ記憶手段、240…再生手段、300…通信ネットワーク

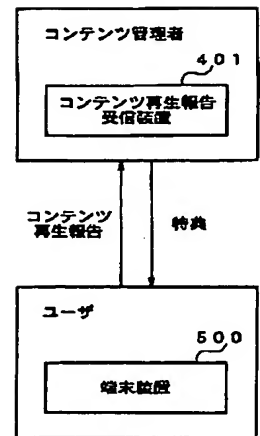
【図2】



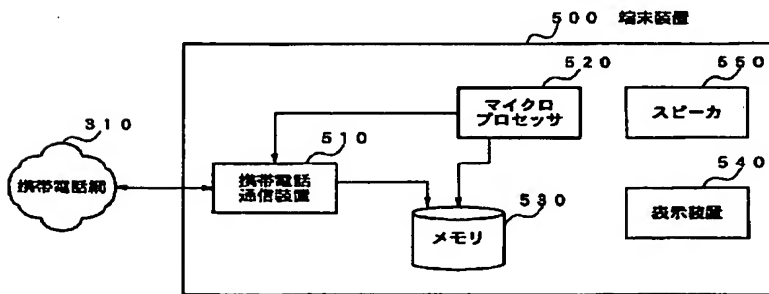
【図1】



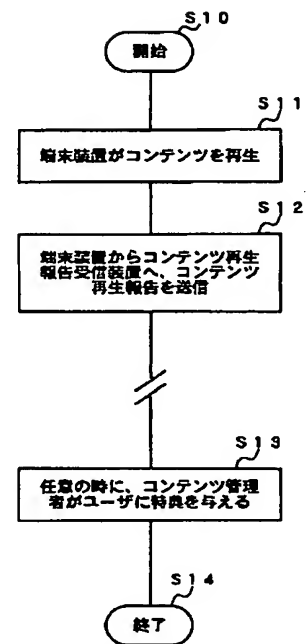
【図4】



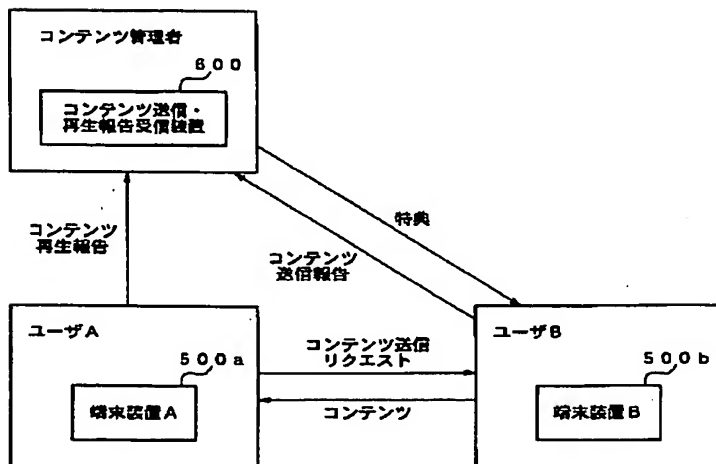
【図3】



【図5】



【図6】



【図7】

